



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月6日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）真鍋 雅信
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理統括本部長 （氏名）親松 和史 TEL 011-633-1030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	230,601	4.6	1,690	△38.0	2,319	△29.7	1,768	△22.6
2025年3月期第3四半期	220,463	5.4	2,725	14.7	3,299	12.2	2,283	26.4

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 2,846百万円（24.3％） 2025年3月期第3四半期 2,290百万円（△14.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	84.20	—
2025年3月期第3四半期	107.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	165,689	63,886	38.5	3,107.06
2025年3月期	147,451	61,861	41.9	2,942.63

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 63,869百万円 2025年3月期 61,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	298,700	3.2	2,500	△14.6	3,100	△14.8	1,900	△23.2	90.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	24,400,000株	2025年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	3,843,783株	2025年3月期	3,382,947株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	21,001,950株	2025年3月期3Q	21,306,111株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。賃上げの動きは見られるものの、物価上昇の影響による実質賃金の減少が続いており、個人消費の本格的な回復には至らず、海外経済の減速懸念や地政学的リスク等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。北海道経済におきましては、観光関連産業を中心に持ち直しの動きを示した一方で、物価と賃金の実質的な乖離の継続による個人消費の抑制や、慢性的な人手不足、物価高騰の影響により全体としては一部に足踏みがみられました。

このような事業環境の中、当社グループは、事業間連携により地域の実状に沿った社会保障基盤の構築に向けグループをあげて付加価値を創造し、「より健やかな地域社会へ」の実現を目指して取り組みを推進しております。

当社グループは、2026年9月の設立20周年を「第二の創業」と位置づけ、同年6月開催予定の第20回定時株主総会における議案の承認を条件として、同年9月29日付で商号を「株式会社T SUMUGU HOLDINGS（つむぐホールディングス）」へ変更することを公表しました。グループ各社の専門性や地域社会とのつながりなど、これまで培ってきた歴史を「紡ぎ」、北海道の健康と未来を創造していくという強い意志が込められた新社名のもと、グループの一体感をより強固なものとし、企業価値向上を目指してまいります。

当社は、企業競争力の源泉は「人財」とであると認識しており、「人的資本経営」を経営理念に掲げております。当第3四半期連結累計期間においては、情報セキュリティ体制の強化に伴う経費の増加に加え、昨今の物価高騰に対する従業員の生活支援を目的とした特別支援金の対応を行った結果、減益となりました。

以上の状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,306億1百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は16億90百万円（同38.0%減）、経常利益は23億19百万円（同29.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益5億67百万円があったことにより17億68百万円（同22.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2025年4月に薬価改定が実施されました。後発医薬品における供給面での混乱は未だに継続している状況です。また、2024年10月から新たに導入された選定療養の影響もあり長期収載品の売上が減少する傾向も依然として続いています。前年同期比較では新型コロナウイルス治療薬や検査キット、およびコロナワクチンの売上減少などマイナスの影響はあったものの、抗がん剤を中心とした新薬創出加算品の販売に積極的に取り組んだ結果、公費助成による带状疱疹ワクチンの需要増もあり売上全体では増収となりました。利益につきましては、物流コストの削減など経費率の圧縮に全社で取り組みましたが仕入原価の上昇により減益となりました。

その結果、売上高は1,714億66百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は13億5百万円（同31.7%減）となりました。

（医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、主要なお得意先における手術や検査などの症例件数は引き続き増加傾向となりました。しかし、国立大学病院をはじめとした基幹病院における経営環境の悪化は続いており、備品の販売が大幅に減少した影響で売上は前年同期を下回りました。利益につきましては、商品仕入金額の上昇や販売コストの増加もあり、減益となりました。

その結果、売上高は520億6百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は6億49百万円（同20.3%減）となりました。

（薬局事業）

薬局事業におきましては、売上では、薬価引き下げが2025年4月に行われたものの、高額医薬品の処方増により処方箋単価は6.5%の上昇となりました。処方箋一枚あたり薬剤料単価は7.4%、技術料単価は3.4%増加しています。一方、処方箋枚数は、前年度の店舗閉鎖や医療機関の閉院等が重なり、前年同期比で7.8%減少となりました。利益につきましては、経費の圧縮に取り組みしましたが、処方箋枚数の減少と医療用医薬品等の仕入原価の上昇に加え、「そえる薬局」へのブランド名統一を中心とした企業価値の持続的な成長促進のためのブランディング費用の計上などにより大幅な減益となりました。

その結果、売上高は95億40百万円（前年同期比1.6%減）、営業損失31百万円（前期同期は営業利益83百万円）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具レンタルにおいて、最適な福祉用具の提案からモニタリングまで一貫した顧客重視の提案型営業により利用者が増加しました。また、介護施設や福祉施設に対して介護ロボット等の導入による営業強化を行い、売上は順調に推移しています。サービス付き高齢者向け住宅においては、全体の入居率も効果的に上昇しており、付随する訪問系サービス等も含め、順調に推移しました。

その結果、売上高は33億52百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は2億22百万円（同6.0%減）となりました。

（ＩＣＴ事業）

ＩＣＴ事業におきましては、マイクロソフト社のWindows10サポート終了に伴うパソコン入替案件などの物販需要が引き続き堅調に推移しました。これにより、一般企業向けの機器およびライセンス販売が増収に寄与しました。また、規模の大きいシステム更新案件の受注も順調に進み、増収増益に貢献しております。このほか、医療機関向けサービスでは、インフルエンザワクチン予約システムの受注が伸長しています。

その結果、売上高は18億34百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益は86百万円（同109.4%増）となりました。

（その他事業）

その他事業（子会社の経営指導等）におきましては、売上高は15億72百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は4億33百万円（同1.7%減）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結結果計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,656億89百万円（前連結会計年度末は1,474億51百万円）となり、182億37百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が6億60百万円、受取手形及び売掛金が99億円、商品及び製品が35億40百万円、建物及び構築物が3億34百万円、建設仮勘定が8億14百万円、投資有価証券が14億83百万円増加したことによるものです。

負債は1,018億3百万円（前連結会計年度末は855億90百万円）となり、162億13百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が157億2百万円、繰延税金負債が5億85百万円増加した一方、未払法人税等が3億43百万円、賞与引当金が3億24百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、638億86百万円（前連結会計年度末は618億61百万円）となり、20億24百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が13億47百万円、その他有価証券評価差額金が10億75百万円増加した一方、自己株式の取得により4億円減少したことによるものです。

（３）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億60百万円増加し、183億99百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は30億13百万円（前年同期は4億90百万円の使用）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益28億25百万円（前年同期比19.6%減）、減価償却費8億91百万円（同9.0%増）、仕入債務の増加157億2百万円（同0.3%増）などがありましたが、減少要素として賞与引当金の減少3億24百万円（同18.2%増）、投資有価証券売却益5億67百万円（前年同期は18百万円）、売上債権の増加98億17百万円（前年同期比7.7%増）、棚卸資産の増加35億44百万円（同52.9%減）、未収歩戻金の増加4億30百万円（同216.2%増）、法人税等の支払額12億43百万円（同7.2%減）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は14億79百万円（前年同期比3.7%増）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入7億20百万円（前年同期は41百万円）の資金の獲得があった一方、有形固定資産の取得による支出18億20百万円（前年同期比8.5%増）および無形固定資産の取得による支出3億54百万円（同45.6%増）があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は8億74百万円（前年同期比8.8%減）となりました。これは主に配当金の支払4億9百万円（同1.5%減）、自己株式の取得による支出4億円（同7.2%減）およびリース債務の返済62百万円（同0.4%減）があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,739	18,399
受取手形及び売掛金	58,780	68,680
商品及び製品	19,114	22,655
仕掛品	1	4
その他	8,206	9,388
貸倒引当金	△23	△28
流動資産合計	103,819	119,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,406	10,741
土地	11,836	11,843
建設仮勘定	454	1,268
その他（純額）	928	1,057
有形固定資産合計	23,625	24,910
無形固定資産		
のれん	690	608
ソフトウェア	464	472
その他	324	547
無形固定資産合計	1,478	1,628
投資その他の資産		
投資有価証券	17,038	18,521
長期売掛金	185	133
長期貸付金	175	170
繰延税金資産	368	364
退職給付に係る資産	185	232
その他	761	762
貸倒引当金	△186	△135
投資その他の資産合計	18,527	20,049
固定資産合計	43,632	46,589
資産合計	147,451	165,689

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,995	90,164
電子記録債務	3,008	3,541
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	659	315
賞与引当金	1,022	697
役員賞与引当金	141	95
その他	2,518	3,001
流動負債合計	82,346	97,818
固定負債		
長期借入金	11	9
繰延税金負債	2,064	2,649
再評価に係る繰延税金負債	124	124
退職給付に係る負債	54	59
長期未払金	393	481
資産除去債務	346	386
その他	248	273
固定負債合計	3,243	3,985
負債合計	85,590	101,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	45,017	46,365
自己株式	△2,461	△2,862
株主資本合計	55,378	56,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,005	8,081
土地再評価差額金	△715	△715
退職給付に係る調整累計額	176	178
その他の包括利益累計額合計	6,467	7,544
非支配株主持分	15	16
純資産合計	61,861	63,886
負債純資産合計	147,451	165,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	220,463	230,601
売上原価	203,900	214,335
売上総利益	16,562	16,266
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	851	886
給料及び手当	6,879	7,259
賞与引当金繰入額	629	633
役員賞与引当金繰入額	96	95
退職給付費用	233	232
法定福利費	1,170	1,225
賃借料	212	211
貸倒引当金繰入額	105	-
その他	3,657	4,030
販売費及び一般管理費合計	13,837	14,575
営業利益	2,725	1,690
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	324	369
不動産賃貸料	105	109
持分法による投資利益	90	88
貸倒引当金戻入額	-	41
その他	177	150
営業外収益合計	700	765
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	79	82
遊休資産諸費用	35	33
その他	11	21
営業外費用合計	126	137
経常利益	3,299	2,319
特別利益		
固定資産売却益	19	0
投資有価証券売却益	18	567
事業譲渡益	100	-
補助金収入	182	-
特別利益合計	320	567
特別損失		
固定資産売却損	1	-
固定資産除却損	6	34
投資有価証券評価損	99	18
減損損失	-	9
特別損失合計	107	61
税金等調整前四半期純利益	3,512	2,825
法人税、住民税及び事業税	1,016	942
法人税等調整額	211	113
法人税等合計	1,228	1,056
四半期純利益	2,284	1,769
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,283	1,768

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	2,284	1,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	1,075
退職給付に係る調整額	△17	1
その他の包括利益合計	5	1,076
四半期包括利益	2,290	2,846
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,289	2,845
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,512	2,825
減価償却費	817	891
減損損失	-	9
のれん償却額	84	81
貸倒引当金の増減額（△は減少）	100	△46
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△40	7
賞与引当金の増減額（△は減少）	△274	△324
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△38	△45
受取利息及び受取配当金	△327	△375
支払利息	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△90	△88
固定資産売却損益（△は益）	△18	△0
固定資産除却損	6	34
投資有価証券売却損益（△は益）	△18	△567
投資有価証券評価損益（△は益）	99	18
補助金収入	△182	-
事業譲渡損益（△は益）	△100	-
売上債権の増減額（△は増加）	△9,116	△9,817
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,517	△3,544
仕入債務の増減額（△は減少）	15,650	15,702
未払消費税等の増減額（△は減少）	△366	△68
未収歩戻金の増減額（△は増加）	△136	△430
預り金の増減額（△は減少）	82	43
その他	△1,619	△427
小計	506	3,877
利息及び配当金の受取額	342	379
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,340	△1,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490	3,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,677	△1,820
有形固定資産の売却による収入	62	0
無形固定資産の取得による支出	△243	△354
無形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	△18	△20
投資有価証券の売却による収入	41	720
事業譲渡による収入	100	-
貸付けによる支出	-	△3
貸付金の回収による収入	36	9
保険積立金の解約による収入	163	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△70	-
補助金の受取額	182	-
固定資産の除却による支出	△2	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,426	△1,479

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△15	-
長期借入金の返済による支出	△33	△1
自己株式の増減額（△は増加）	△431	△400
配当金の支払額	△415	△409
リース債務の返済による支出	△63	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△959	△874
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,876	660
現金及び現金同等物の期首残高	20,813	17,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,936	18,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	154,849	52,156	9,689	3,226	491	49	220,463
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,214	413	9	3	1,041	1,481	9,164
計	161,064	52,570	9,698	3,230	1,533	1,531	229,628
セグメント利益	1,912	814	83	237	41	441	3,529

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,529
セグメント間取引消去	△700
のれんの償却額	△68
棚卸資産の調整額	△35
四半期連結損益計算書の営業利益	2,725

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	165,564	51,666	9,533	3,348	462	26	230,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,902	339	7	4	1,371	1,546	9,172
計	171,466	52,006	9,540	3,352	1,834	1,572	239,773
セグメント利益	1,305	649	△31	222	86	433	2,666

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,666
セグメント間取引消去	△876
のれんの償却額	△70
棚卸資産の調整額	△29
四半期連結損益計算書の営業利益	1,690

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。